

2018年7月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A L B E R T
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 本 壯 志
 (コード番号：3906 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 最 高 財 務 責 任 者 村 上 嘉 浩
 (TEL. 03-5909-7510)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年7月17日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2018年2月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2018年12月期第2四半期（累計）業績予想数値の修正（2018年1月1日～2018年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	500	△50	△51	△51	—
今回修正予想 (B)	615	26	26	23	8.90
増減額 (B - A)	115	76	77	74	—
増減率 (%)	23.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2017年12月期第2四半期)	453	△37	△37	△38	—

2018年12月期通期業績予想数値の修正（2018年1月1日～2018年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	1,200	20	18	8	3.30
今回修正予想 (B)	1,350	80	78	67	24.66
増減額 (B - A)	150	60	60	59	—
増減率 (%)	12.5%	300.0%	333.3%	737.5%	—
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	872	△161	△158	△172	—

修正の理由

2018年12月期の売上高につきましては、AI（人工知能）および機械学習技術を活用した「ビッグデータソリューションサービス」の需要が拡大していることを背景として、期初より取り組んで参りました、重点産業を対象とした当社経営資源の集約化等により、主要プロジェクトにおける収益力が改善されております。また、データアナリストおよびデータエンジニアにおいて、前期比30名増の100人を超える体制を構築し、同時に、自社製品開発にかかる研究開発の人員配置の見直しを概ね完了させ、受注体制を強化いたしました。

これらの結果、主要プロジェクトの受注が好調に推移したことにより、売上高は当初計画を上回ることを見込んでおります。

利益面につきましても、データアナリストおよびデータエンジニアの人員確保に継続的に取り組むなどするため費用の増加が見込まれるものの、上記収益力の改善により、当初計画を上回ることを見込んでおります。

以上の結果、第2四半期（累計）売上高615百万円、営業利益26百万円、経常利益26百万円、当期純利益23百万円とそれぞれ前回予想を上方修正いたします。

また、通期に関しましても売上高1,350百万円、営業利益80百万円、経常利益78百万円、当期純利益67百万円とそれぞれ前回予想を上方修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上